

乳がん検診を受診される方へ

はじめに

近年、乳がんの発症率は増加しており日本人女性の16人に1人が乳がんにかかっています。

現在の医学では乳がんを予防することはできませんが、早期（I期：しこりが2cm以下でリンパ節転移のないもの）であれば、約90%が治る病気といわれています。

女性ならば誰もが可能性のある病気であることを忘れず、症状がなくても1～2年に1回は乳がん検診を受けましょう。

乳がん検診

ジャパングリーンメディカルセンターでは、**乳房触診**、**乳房超音波**、**マンモグラフィー**の3種類の検査を行っています。

乳房超音波検査（エコー）

診察台の上に仰向けになり、皮膚にゼリーを塗りプローブ（端子）をあて乳房の内部を観察する検査です。痛みはなく、体への負担はほとんどありません。検査中は、画面を見やすくするために診察室を暗くします。数mmの小さな腫瘍（しこり）を見つけたり、しこりの性状が詳しくわかる検査です。細かい石灰化は見えません。

マンモグラフィー検査

乳腺専用のX線装置を用いた、レントゲン検査です。乳房を片側ずつ、上下あるいは左右から圧迫して、薄く平らにして撮影します。通常、片側2方向とります。圧迫する際に痛みを感じることがありますが、なるべくリラックスして力を抜くことで痛みが軽減されます。腫瘍（しこり）や石灰化・乳腺のゆがみなどを確認します。

英国の規定により、40歳未満の方と過去1年以内に受診歴のある方、妊娠中の方は検査を受けられません。

当院から徒歩3分の所にある提携施設（31 Old Broad Street）にて実施いたします。当院スタッフが施設までご案内いたします。



対話があるから医療技術が生きる

ジャパングリーンメディカルセンター

	長 所	短 所
超音波検査	<ul style="list-style-type: none"> ・数ミリの小さなしこりを見つけやすい。 ・しこりの性状がわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい石灰化や性状、範囲は確認できない。
マンモグラフィ	<ul style="list-style-type: none"> ・触診や超音波でしこりを認めない乳がんでも石灰化、乳腺のゆがみとして乳がんを発見できる。 ・石灰化の性状や範囲がわかる。(乳腺のゆがみ、石灰化を認めても必ずしも乳がんとは限りません) 	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みを伴うことがある。(注1) ・年齢、乳腺量の個人差により詳細な診断ができないことがある。 ・妊娠中またはその可能性がある時は検査不可能。

(注1) マンモグラフィ検査に伴う疼痛は個人差があります。また月経周期の時期で多少異なります(排卵後から月経直前では乳房がしばしば硬くなるため、痛みが増す可能性があります)。月経のある方の乳がん検診は、可能でしたら月経開始5日~7日ぐらいの頃に受けていただくことがお勧めです。

* 以前に乳がん検診を受けられたことのある方で、フィルム(CD)をお持ちの方は、検査当日ご持参ください。画像を比較し診断させていただきます。

マンモグラフィ追加検査を受けられる方へ

マンモグラフィ検査にて追加検査が必要な場合、提携の検査センター(31 Old Broad Street)にてマンモグラフィ精密撮影が可能です。

その際、同時に専門医による乳房超音波検査を再度お受けいただく場合がありますが、これは異常の有無をもう一度正確に確認するためです。追加検査については当院にてお手続きも可能です。ご希望の方は当院健康診断部(020 7330 1765またはcheckup@japangreen.co.uk)までご一報ください。

尚、マンモグラフィ精密撮影のみの再検査には¥100、精密撮影と乳房超音波の再検査には¥290が必要になります。何卒、ご了承ください。

